

昨年、第三者評価として西宮市児童通所支援連絡会に所属する他事業所の先生方に、当事業所を評価していただきました。

この自己評価シートは厚生労働省が定める放課後等デイサービスのガイドラインに則ったものです。

改善すべき点、これからも伸ばしていく点など、今一度振り返ってより良い事業所づくりに努めていきます。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関の段差について検討必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			ケースカンファレンス含め、週1回の会議を実施。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケートは今後実施予定。 ホームページで意見随時受付。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			西宮市児童通所支援連絡会(外部)での相互事業評価実施。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			積極的に実施。 新入職員研修プログラム導入。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			専門職と連携して評価ツールを使用しながら作成。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		まだ全員に評価ツールを実施できていない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			心掛けている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		子どもの行動理解が前提なので、「その日に応じて」よりも「子どもに応じて」実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズを把握し、目標設定している。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		十分に行えていないが、話し合う機会を設けている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	振り返りや気づいた点はファイルに記載して共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			経過記録を残している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			親子参加型のため、利用の都度実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		子どもの自己決定を尊重。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者や当該児と接する機会の多い職員が参加。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		積極的に行えていない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			フェースシートに記載と、必要があれば指示書の確認も実施している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		当事業所は多機能であるため、情報共有が密にできる児童に差がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今後、準備していく予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			密に行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		親子参加型のため、兄弟児とのつながりがある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			利用ごとに情報共有と共通理解に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			職員全員がペアレントトレーニングの資格を取得し、支援に努めている。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		実施予定
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			意見が出やすい環境整備に努め、アンケート等も実施していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	児童、家族への配慮も必要であるため、慎重に検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防署と連携し、訓練を定期的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			本社の研修会に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		家族への聞き取りが主。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		作成し、共有しやすいように準備を進めている。(ヒヤリハットは都度作成済)